

議 事 録

会議の名称	第2回上牧町学校統合準備委員会（学校教育部会）会議
開催日時	令和5年3月23日 午前10時00分から
開催場所	上牧町役場 西館2階 第6会議室
出席者 (委員等)	岸本部長、西浦委員、奥田委員、辻本委員、安中委員、 向井委員、竹本委員、上西委員、高田委員
出席者 (事務局等)	教育総務課長補佐、教育総務課 主事
傍聴の有無	なし
議事録の 作成方法	要点筆記（簡易対話形式）
会議の議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 整備可能な部活動数について 3. 部活動の整備とアンケート(修正案)について 4. 既存の取組等について 5. 今後の検討事項について 6. その他（連絡事項等） 7. 閉会
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育部会資料2-2：「整備可能な部活動数等について」 ・学校教育部会資料3-2：「部活動アンケート(案2)について」 ・学校教育部会資料4-2：「既存の取組等について」
決定事項	なし
特記事項	・部活動アンケートの校正は第3回会議に持ち越す
次回日程	未定

内容（簡易対話形式）

1. 開会

事務局 定刻により開会する。
なお、本会議は「上牧町審議会等の設置及び運営に関する規則」第10条の規定に基づいて公開とし、会議録作成のためICレコーダーで録音していることについてご了承いただきたい。
それでは、配付資料について確認する。

（事務局が配付資料を確認）

2. 整備可能な部活動数について

岸本部長 それでは案件事項を進める。
まず、学校教育部会資料 2-2：「整備可能な部活動数等について」に関して、事務局から説明をお願いします。

（資料について事務局が説明）

岸本部長 ただいまの説明について、何か質問等はあるか。

事務局 資料の補足として、今後の学校部活動は地域移行（部活動における指導の一部又は全部を専門的な知見・技術を有する地域住民が担い、部活動指導における専門性の担保、教職員の負担軽減、地域住民の生涯学習に資すること等を目的とした取組）を含めた展開が予想される。しかしながら、地域移行には「本当に教員の負担を軽減できるのか(対外試合等に帯同が必要なのであれば拘束時間は変わらない等)」「トラブルが生じた際の責任の所在は

どこにあるのか」等、円滑な運用に向けて解決すべき課題が山積しており、依然として全国的にも事例が少なく試験的な段階である。このことを踏まえ、本部会における部活動整備の検討では地域移行ありきではなく「教職員で運用可能な範囲」を前提として整備数は最小限とし、今後、国の方針等により地域移行が平準化され人材確保が容易になることで部活動の更なる充実が求められるような時代になれば、それに合わせて部活動の種類を増やしていければと考えている。

岸本部長 改めて、委員から何か質問等はあるか。

安中委員 資料では統合時の教職員数を 26 人と見込んでいるが、現状は何人なのか。統合により生徒数及び学級数が増えれば教職員数も増えることは間違いないと思うが、それにより部活動に限らず様々な課題が解消されていくと思う。こうした数値的根拠に基づく統合メリットはもっと積極的に発信し、「統合することでこんな良いことがある」とアピールしていく必要がある。

事務局 情報発信については、町ホームページや「上牧町学校適正化だより」等で行っているが、いただいたご意見も参考に、より積極的にアピールしていきたいと思う。また、ご質問にあった現在の教職員数については岸本部長並びに西浦委員から説明をお願いしたい。

岸本部長 本校（上牧中学校）の現在の教職員数は管理職を除いて 28 名程度である。

西浦委員 本校（上牧第二中学校）は管理職を除いて 15 名程度である。

岸本部長 資料を見て、見込まれる教職員数すべてを何らかの部活動顧問又は副顧問に充てているところが気になった。教職員のなかには自らが経験したことがない部活動を担当している者もあり、大変ご苦労いただいている。こうした専門性に関する事情のほかにも諸事情等があり、各教職員に部活動指導をお願いするのは容易ではない。このことから、「26名すべての教職員が何らかの部活動顧問又は副顧問になれば13種類できる」という考え方は少々危険であると考えます。

向井委員 整備可能な部活動数を数値的に決めてしまうと、実際の整備数がそれに満たない場合に「新たな部活動を整備する余地がある」と誤解されてしまう恐れがある。

辻本委員 ご指摘のとおり危惧されることもあるが、原則として何らかの部活動を担当することとおかないと、担当する教職員としない教職員との間に不公平さが生じてしまう。このことから、数値的に整備数の目安を示すことにも一定の意義はあると思う。

岸本部長 断言するのではなく、10～13種類を目安として示すべきと考えますが、異議等はあるか。

(異議等なし)

岸本部長 ほかに意見等はあるか。

竹本委員 地域移行の件についてであるが、国の方針としては推進していく考えである。事務局から説明があったとおり今後は地域移行を含めた展開が予想されるが、実際に移行され地域住民が部活動指導することとなった場合においても、部活動での子どもたち一

人ひとりの頑張りを学校及び教職員と共有できるような仕組みづくりをしていく必要があると考えている。

高田委員 地域住民に指導を託す場合、トラブルを未然に防ぐ意味でも指導員の事前研修等はしっかりと行っていただきたい。

岸本部長 ほかに意見等はあるか。

(意見等なし)

3. 部活動の整備とアンケート（修正案）について

岸本部長 それでは案件事項を進める。

まず、学校教育部会資料3-2:「部活動アンケート(案2)について」に関して、事務局から説明をお願いします。

(資料について事務局が説明)

岸本部長 ただいまの説明について、何か質問等はあるか。

向井委員 小学生用のアンケート票について、低学年には理解するのが難しい気がする。統合時に中学生となる学年に対象を絞ってもいいのではないか。

奥田委員 小学生用のアンケート票について、これは複数回答可なのか。

事務局 複数回答可である。

辻本委員 実用的な集計結果を得るためにも選択数は限定した方がいい

い。複数回答可ということであるが、「1～3位まで」のように順位付けするような回答方法が望ましいのではないか。

岸本部長 現在、多くの生徒がクラブチーム等の外部団体で競技活動している。また、こうした外部団体が中体連の大会に出られるケースも増えてきていることから、子どもたちが部活動としてしたいのか、外部団体でしたいのかという意向調査的な要素も取り入れることができれば実用的な結果が得られると思う。

上西委員 アンケート調査の結果を参考に整備する部活動を検討するということかと思うが、ここ数年の入部状況等を調べれば部活動として人気の高い競技等は分かると思う。まずは人気の高い部活動を存続し、追加で整備又は存続する部活動の検討にアンケート調査の結果を活用すればいいのではないか。

向井委員 部活動の取捨選択においては、統合時に2年生又は3年生に進級する生徒たちが在籍している部活動が進級時に廃部とならないよう配慮する必要がある。

岸本部長 ほかに意見等はあるか。

(意見等なし)

4. 既存の取組等について

岸本部長 それでは案件事項を進める。

まず、学校教育部会資料 4-2:「既存の取組等について」に関して、事務局から説明をお願いします。

(資料について事務局が説明)

岸本部長 ただいまの説明について、何か質問等はあるか。

高田委員 資料中、ボランティアの高齢化等に伴う人員不足が課題として挙げられているが、「ボランティアに登録する＝依頼があれば随時応じなければならない（時間を確保できる保証がない）」というイメージがある。こうしたイメージが一種のハードルとなっているのではないかと推察する。

安中委員 ボランティア登録している方のなかには年に一度も参加されない方もいる。要するに、参加は自由であり「行けるときに行く」というものである。ただ、ご指摘の拘束感のようなものが人員確保を難しくしていると思うので、気軽さをアピールしていくことが重要であると思う。

向井委員 学校と地域の交流等については「学校・地域パートナーシップ協議会」が主たる協議体なので、今後は当協議会の各校コーディネーターも交えて意見交換していくのがいいのではないか。

岸本部長 ほかに意見等はあるか。

(意見等なし)

5. 今後の検討事項について

岸本部長 それでは案件事項を進める。

本案件において資料はないが、要点について事務局から説明をお願いします。

事務局 先ほどのご意見のなかにもあったが、地域交流に関しては「学校・地域パートナーシップ協議会」が主たる協議体となっているほか、本部会では第 1 回会議で「新規事業ではなく既存取組の延長として」という趣旨のご意見もあったことから、今後、地域交流の部分についてはコーディネーターも交えて意見交換しながらこれからの学校と地域の関わり方についてご協議いただければと考えている。次回以降の会議においては、部活動整備に関する協議に重きを置いて進めていければと考えているので、その点についてお含みいただきたい。

岸本部長 ただいまの説明について、意見等はあるか。

(意見等なし)

6. その他 (連絡事項等)

岸本部長 それでは、委員又は事務局から何か連絡事項等はあるか。

(連絡事項等なし)

岸本部長 それでは、本日の案件事項は以上となるため事務局に進行を移したいと思う。

7. 閉会

事務局 以上をもって第 2 回上牧町学校統合準備委員会 (学校教育部会) 会議を閉会する。

以上